

2014年2月3日

タイでカバーガラス用薄板ソーダライムガラスの生産能力を50%増強

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、主にノートブックPCなどのタッチパネル用カバーガラスとして使用される薄板ソーダライムガラス専用生産設備を、AGCフラットガラス・タイランド（以下、AFT）のライオン工場に新設します。同設備により、当社の薄板ソーダライムガラスの生産能力は50%増強となります。供給開始は2014年3月の予定です。

電子機器へのタッチパネル機能の搭載は、世界で急速に普及が進んでいるスマートフォンやタブレットPCの他、ノートブックPCなど様々な機器へと広がっています。

当社は、これらのカバーガラス向けに化学強化用特殊ガラス Dragontrail® を販売していますが、ノートブックPCなど一部の電子機器では、薄いソーダライムガラスを素板に用いた化学強化ガラスも採用されています。今後タッチパネル機能を搭載する機器の多様化が進むにつれ、そのカバー材として、化学強化用特殊ガラスとともに、化学強化ソーダライムガラスの需要が高まることが予想されます。

AFTは10年以上にわたり薄板ソーダライムガラスの生産を行っており、その品質についてお客様より高い評価を得ています。今般新設した設備では、これまでの薄板ソーダライムガラス生産技術に加え、AGCが電子用特殊ガラスの分野で培った技術が活かされており、より高い品質のガラス生産が可能です。

当社は今般増強したタイの薄板ガラス生産拠点を中心に欧州や中国等の生産・加工拠点との連携により、カバーガラス市場における化学強化ソーダライムガラスの需要拡大に対応する供給体制をいち早く整えると同時に、高い品質によりトップシェアを維持していきます。

AGCは、カバーガラス向けに化学強化用特殊ガラス Dragontrail と薄板ソーダライムガラスの両方を生産している唯一のガラスメーカーとして、今後もお客様からの幅広いニーズに応えます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子（株）広報・IR室長 小林 純一
（担当：高橋 TEL：03-3218-5603 E-mail：info-pr@agc.com）

【ご参考】

AGCフラットガラス・タイランド

代表者： 塩井 英喜
設立： 1963年
生產品目： 建築用ガラス、自動車用素板ガラス、産業用ガラス、ミラー
工場： サムットプラカン工場、チョンブリ工場、ライオン工場